

事業実施日時・会場	事業の名称
令和3年7月13日（火）13：30～14：00 山梨県庁 防災新館 教育長室	山梨県教育長へ（一社）山梨県建設業協会の正副会長、 並びに担い手・DX部会の正副部会長が陳情・要望
実施主体／出席者	要望団体／出席者数
（教育委員会出席者） 教育長 三井 孝夫 高校改革・特別支援教育課長 保坂一郎 高校教育課長 高見澤 圭一 学校施設課長 古屋 ひとみ 合計4名	（一社）山梨県建設業協会 出席者 会長 浅野 正一 副会長 佐々木 幸一 〃 桜井 義明 〃 丹澤 淳人（担い手・DX部会長） 専務理事 大久保 勝徳 担い手・DX部会副部会長 早野 正泰 〃 飯塚 潤

事業の概要（飯野常務理事が司会進行）

（一社）山梨県建設業協会は、令和4年度における公立高等学校の建設課程学科の募集定員を増やすこと、建設過程の専門学科担当教員の確保、実習機器材の更新に必要な予算の確保に向けて、県教育委員会の三井孝夫教育長へ要望書を手渡した。要望の中で浅野会長は、業界を支える技術者や技能者は、高校生に頼る傾向が強いため、何とか担い手を確保する後押しとなる要望を上げさせてもらった。建設業界は県内の災害対応にいち早く出動して、地域の安全・安心の確保に大きく貢献してきた。

しかしながら若年従事者の不足が顕著になってきており、新3Kをキャッチフレーズに、働き方改革に取り組んでいることをアピール。

<要望内容>

1. 令和4年度の県立高等学校建設課程学科の募集定員の増員
2. 県立高等学校建設課程学科の専門学科担当教員の確保
3. 令和4年度予算編成における実習機器材等の更新に必要な予算の確保

これに対して三井教育長は、建設業は県民生活に無くてはならない業界。担い手確保は長い間での課題であることは承知しているので、窮状から救えるように検討していきたいと答えた。

事業の実施場所 山梨県庁 防災新館 3階教育長室

（写真1）冒頭『要望書』を三井教育長に手渡す



（写真2）陳情・要望の内容について説明

